

1月6日、当社各事業所にて開催した新年の式典において、増田社長より年頭挨拶がありました。

### 【社長挨拶（要旨）】

今年は、各施設の新規制基準の安全審査から本格的な安全性向上対策工事へと、現場に軸足が移る年になります。また、4月には新検査制度が施行されるなど、当社を取り巻く環境も変化します。

今後、事業を着実に推進していくためには、安全を最優先に、現在の仕事に満足することなく、日々、カイゼンを継続することが重要です。

そして、再処理工場のしゅん工とその後の操業を見据えて、仕事の仕組みや持つべき技術力、教育訓練プログラムの整備、技術図書の整備など、仕事の基礎基盤を作り上げる年としなければなりません。

各事業部・本部・室においても、大詰めを迎えている新規制基準の安全審査への合格のほか、工事や作業における安全確保とルール遵守、新検査制度への確実な対応、働き方改革、安全・品質の向上、地域の皆さんの信頼確保などに取り組んでいただきたい。



当社の使命は、「原子燃料サイクルを確立し、新たなエネルギーを生み出して、未来を切り拓く」ことであり、わが国のエネルギーの将来を担う極めて重要な存在であることを改めて心に刻み、関係会社・協力会社の皆さんと一丸となって、誇りを持って仕事に取り組んでいきましょう。

昨年の年頭、私の皆さんへの期待事項として、「一人ひとりが広報マン」、「プロフェッショナル」となってほしいということをお話しましたが、引き続き、日本原燃のプロとして、広報マンとして、立ち居ふる舞うこと、「さすが日本原燃の社員だ」と言われる様、よろしくお祈りします。

